

令和7年度15回庁議 議事要旨(記録)

開催日 令和7年8月12日
開催場所 市長公室
開始時間 午後 1時00分
終了時間 午後 2時00分

庁議内容	
議 題	1 定例会総括の進捗管理について
付 議	2 国立市公共施設保全計画の改定について

出席者（14名）

庁議メンバー (14名)	市長 副市長 教育長 政策経営部長 行政管理部長 健康福祉部長 地域包括ケア・健康づくり推進担当部長 子ども家庭部長 生活環境部長 都市整備部長 基盤整備担当部長 会計管理者 議会事務局長 教育部長
	代理出席者 (0名)

【議 題】	
1. 定例会総括の進捗管理について	説明員：各部長
<内 容>	
国立市議会定例会総括について説明を行った。	
【付 議】	
2. 国立市公共施設保全計画の改定について	説明員：建築営繕課長
(内容は別紙「庁議付議事案 審議要旨」のとおり)	

庁議付議事案 審議要旨（記録）（令和 7 年 8 月 1 2 日開催）

付議事案名：国立市公共施設保全計画の改定について

提案課 行政管理部 建築営繕課

議事要旨公開・時限非公開の別

- ① ☒ 決裁後公開します
② ☐ （庁議で集約）後公開します

（※②をチェックした場合、その理由）

1. 付議事案の概要

1. 付議目的（理由）

公共施設保全計画に定めのある 5 年周期による各施設の改修履歴等の更新を行う。また、計画策定後 10 年が経過する中で、国等から様々な技術的見地が示されている。令和 5 年 3 月に文部科学省が「学校施設の長寿命化計画の見直しに向けたコスト試算等に係る解説書」を策定したことを契機として、現在の保全計画をベースに、「近年の技術的見地」と「適切な保全対策と定期調査」を新たな要素として取り入れ、健全性の評価指標を見直し平準化を図っていく。なお、当計画の素案について庁内合意を得るために付議するものである。

2. 経過及び現状

平成 27 年 5 月・・・公共施設保全計画策定
令和 3 年 3 月・・・上記計画 第 1 回改定
令和 6 年 3 月・・・上記計画 第 2 回改定に関する工程及び改定内容の概略を庁議報告
令和 7 年 4 月・・・上記計画 第 2 回改定に関する改定内容の根拠、詳細内容を庁議報告
令和 7 年 8 月・・・上記計画 第 2 回改定に関する素案完成

3. 具体的な措置

市有施設の 9 割以上を占める鉄筋コンクリート造の健全性の評価指標を見直し、目標使用年数を延長した。また、全ての構造形式において、定期的な調査や改修を行うことで長寿命化を図る方針を明確化した。

2. 集約

原案の内容で確認し、事務を行っていく。

3. 主な意見・質疑・確認事項等

【主な意見・質疑等】

- ・学校施設をはじめ、今後公共施設の建て替え等が重なる時期が来ることを想定し、現段階から改築費用等を平準化できるよう、庁内調整を実施していくことが求められる。
- ・本計画の位置づけを冒頭に明記したほうがよいのではないか。